

2017年12月度の化学繊維生産・在庫の概況（速報）

日本化学繊維協会

【生産動向】

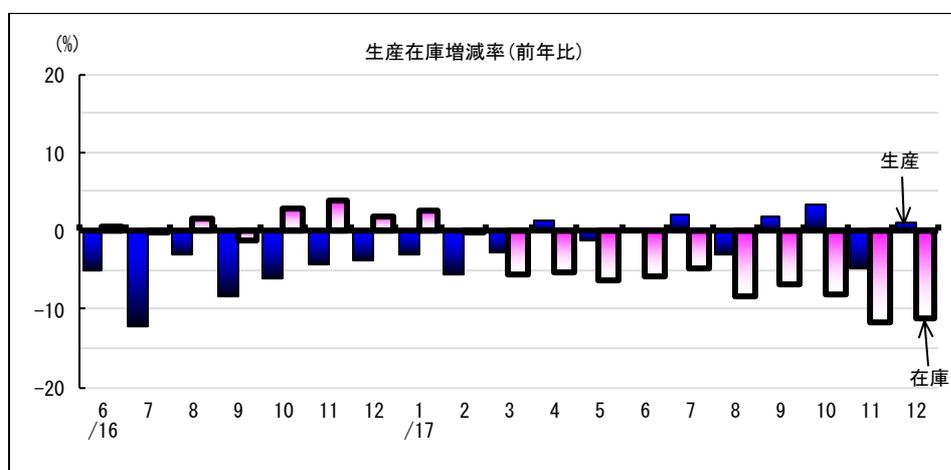
化学繊維生産は 72,789 トン、前年同月比 1.0%増、うち合成繊維生産は 58,310 トン、同 2.7%の増であった。

主要品種では、ナイロンFは前年同月比 5.0%増の 8,094 トン、アクリルSは同 5.9%減の 8,340 トン、ポリエステルFは同 2.9%減の 9,838 トン、ポリエステルSは同 19.9%減の 7,226 トンであった。

【在庫動向】

化学繊維在庫（生産者）は 80,001 トン、前月比 2.1%減、前年同月比 11.1%減、うち合成繊維在庫は 64,143 トン、前月比 2.7%減、前年同月比 13.4%の減であった。

主要品種では、ナイロンF 11,064 トン、前月比 2.3%増、アクリルS 8,601 トン、同 9.5%減、ポリエステルF 10,086 トン、同 0.7%減、ポリエステルS 11,438 トン、同 5.0%の減であった。



以上

ホームページアドレス <http://www.jcfa.gr.jp/>

お問い合わせ先：日本化学繊維協会 大阪事務所 榎本

TEL : 06-6231-6784

表1. 2017年 12月 化学繊維生産・在庫(速報)

[生産高]

	当月 (トン)	前月 (トン)	前月比較		前年同月比 (%)	累計(トン) 1月以降	前年同期比 (%)
			増減(トン)	比率(%)			
セルロース計	14,479	13,968	511	103.7	94.6	182,806	109.0
ナイロンF	8,094	7,931	163	102.1	105.0	96,650	108.1
アクリルS	8,340	7,646	694	109.1	94.1	120,271	94.6
ポリエステルF	9,838	9,608	230	102.4	97.1	120,984	97.4
ポリエステルS	7,226	5,655	1,571	127.8	80.1	92,737	83.3
ポリプロピレンF	5,972	5,919	53	100.9	115.4	69,405	94.0
ポリプロピレンS	5,185	5,300	-115	97.8	103.6	61,671	102.4
その他	13,655	13,891	-236	98.3	125.3	158,729	100.5
合繊維計	58,310	55,950	2,360	104.2	102.7	720,447	96.8
合計	72,789	69,918	2,871	104.1	101.0	903,253	99.1

[在庫高]

	当月 (トン)	前月 (トン)	前月比較		前年同月比 (%)
			増減(トン)	比率(%)	
セルロース計	15,858	15,791	67	100.4	99.2
ナイロンF	11,064	10,819	245	102.3	103.8
アクリルS	8,601	9,499	-898	90.5	68.2
ポリエステルF	10,086	10,157	-71	99.3	96.1
ポリエステルS	11,438	12,039	-601	95.0	62.0
ポリプロピレンF	956	884	72	108.1	122.3
ポリプロピレンS	6,233	6,413	-180	97.2	109.0
その他	15,765	16,094	-329	98.0	102.8
合繊維計	64,143	65,905	-1,762	97.3	86.6
合計	80,001	81,696	-1,695	97.9	88.9

表2. 合繊主要4品種 生産・在庫推移

<生産>

		生産高(トン)	前月比(%)	前年同月比(%)
ナイロンF	2016年12月	7,709	112.8	113.3
	2017年7月	8,502	109.7	109.2
	8月	8,529	100.3	99.6
	9月	7,548	88.5	96.5
	10月	7,052	93.4	121.0
	11月	7,931	112.5	116.1
	12月	8,094	102.1	105.0
アクリルS	2016年12月	8,862	111.1	86.3
	2017年7月	10,541	99.2	93.5
	8月	10,333	98.0	91.2
	9月	10,447	101.1	99.2
	10月	10,493	100.4	100.0
	11月	7,646	72.9	95.9
	12月	8,340	109.1	94.1
ポリエステルF	2016年12月	10,131	94.4	98.2
	2017年7月	9,876	95.2	93.8
	8月	10,184	103.1	93.7
	9月	9,918	97.4	100.8
	10月	9,695	97.8	92.9
	11月	9,608	99.1	89.5
	12月	9,838	102.4	97.1
ポリエステルS	2016年12月	9,021	127.9	87.5
	2017年7月	8,540	108.0	86.7
	8月	8,327	97.5	89.5
	9月	7,545	90.6	79.7
	10月	6,171	81.8	82.1
	11月	5,655	91.6	80.2
	12月	7,226	127.8	80.1

(注)最新月は速報値、その他は確報値

<在庫>

		在庫高(トン)	前月比(%)	前年同月比(%)
ナイロンF	2016年12月	10,661	100.0	99.5
	2017年7月	11,955	103.8	99.2
	8月	12,872	107.7	94.6
	9月	12,347	95.9	91.2
	10月	11,227	90.9	93.7
	11月	10,819	96.4	101.4
	12月	11,064	102.3	103.8
アクリルS	2016年12月	12,608	93.9	113.8
	2017年7月	11,361	103.8	100.3
	8月	11,528	101.5	90.4
	9月	10,587	91.8	85.6
	10月	10,602	100.1	75.2
	11月	9,499	89.6	70.8
	12月	8,601	90.5	68.2
ポリエステルF	2016年12月	10,500	97.5	88.8
	2017年7月	10,917	102.4	95.9
	8月	10,857	99.5	92.0
	9月	10,778	99.3	100.1
	10月	10,467	97.1	96.1
	11月	10,157	97.0	94.3
	12月	10,086	99.3	96.1
ポリエステルS	2016年12月	18,444	98.7	94.3
	2017年7月	14,352	109.6	67.6
	8月	15,623	108.9	70.1
	9月	14,020	89.7	66.3
	10月	12,871	91.8	64.5
	11月	12,039	93.5	64.4
	12月	11,438	95.0	62.0

(注)最新月は速報値、その他は確報値

2017年の化学繊維生産の概況（速報）

日本化学繊維協会

2017年（年間）の化学繊維生産は90.3万トン、前年比0.9%減、うち合成繊維は72.0万トン、同3.2%減、セルロース繊維は18.3万トン、同9.0%増となった。

主要品種の生産は、以下のとおり。

ナイロンFは9.7万トン、前年比8.1%増。衣料用途はダウンジャケットやアウトドア向けが底堅く、産業資材用途はエアバッグ向けが堅調だった。

アクリルSは12.0万トン、同5.4%減。衣料用途は保温肌着向けが堅調に推移、毛布やカーペット向けなど建寝装用途は不振が続き、中国向け輸出は上向いた。

ポリエステルFは12.1万トン、同2.6%減。衣料用途は婦人服向けなど全般低調、インテリア用途は盛り上がり欠け、産業資材用途は建築資材や車両向けが健闘した。

ポリエステルSは9.3万トン、同16.7%減。紡績用途はユニフォーム向けが回復、製綿用途は低位で推移、衛材向けなど不織布用途が堅調だった。

上記以外では、ポリプロピレンSの衛材向け不織布用途が堅調であった。

以上

2017年 化学繊維生産高 (速報)

日本化学繊維協会

品 種	2017年 (トン)	2016年 (トン)	前年比較	
			増減(トン)	比率(%)
セルロース計	182,806	167,718	15,088	109.0
ナイロンF	96,650	89,409	7,241	108.1
アクリルS	120,271	127,123	-6,852	94.6
ポリエステルF	120,984	124,275	-3,291	97.4
ポリエステルS	92,737	111,367	-18,630	83.3
ポリプロピレンF	69,405	73,833	-4,428	94.0
ポリプロピレンS	61,671	60,216	1,455	102.4
その他	158,729	157,943	786	100.5
合繊計	720,447	744,166	-23,719	96.8
合 計	903,253	911,884	-8,631	99.1

(注) 非会員企業のデータについては推定値で集計した。